

日々是Oracle APEX

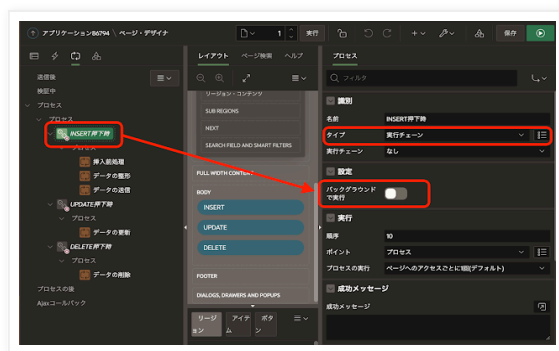
Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2023年5月9日 火曜日

フォアグラウンドの実行チェーンによるプロセスの整理

Oracle APEX 23.1よりプロセス・タイプとして**実行チェーン**が追加されました。主にプロセスをバックグラウンドで実行するための機能ですが、フォアグラウンドの実行も可能です。

フォアグラウンドで実行する場合、**設定のバックグラウンドで実行をオフ**に設定します。

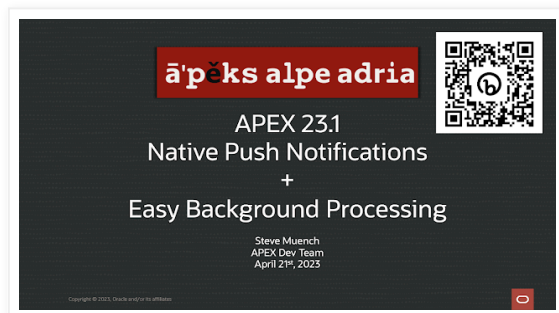


フォアグラウンドの実行チェーンのユースケースには何があるのだろうと思っていましたが、最近、Oracle APEXの開発部門に所属しているSteve Meunchさんが書いた記事を読んで、なるほどと思いました。

Steve Meunchさんの記事は以下になります。

Page Processing Power Unchained

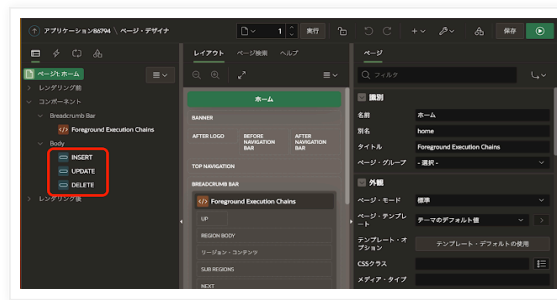
この記事は2023年4月にクロアチアのザグレブで開催された[APEX Alpe Adria 2023](#)のセッションを元としています。一番最後のセクションDownloading My Slidesに、セッションで使用されたスライドのPDFのリンクがあります。



APEX 23.1に実装されたプッシュ通知と実行チェーンが紹介されています。全146ページで、これらの機能を詳細に説明しています。これらの機能の詳細に興味がある方には、一読をお勧めします。

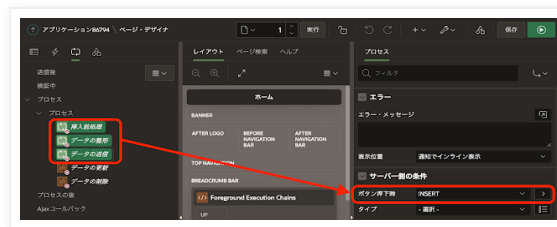
本記事では、実行チェーンのちょっと便利な使い方の説明になります。

例えば、ページに3つのボタンINSERT、UPDATE、DELETEが作成されているとします。

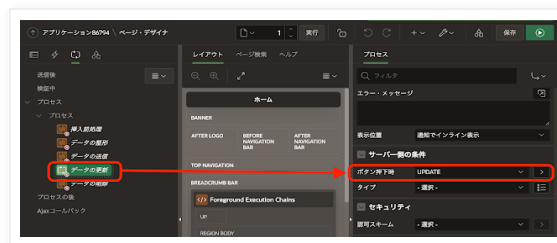


APEX 23.1以前では、ボタンを押した時に実行されるプロセスは、**サーバー側の条件**で制御する必要がありました。

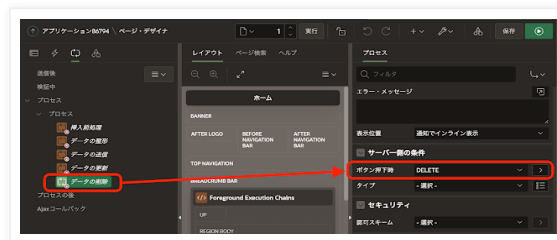
5つのプロセスが作成されていて、そのうちの3つがボタンINSERTを押した時に実行されるとします。これは、それぞれのプロセスの**サーバー側の条件**の**ボタン押下時**にINSERTを設定します。



その以外に、ボタンUPDATEを押した時に実行されるプロセスを設定します。

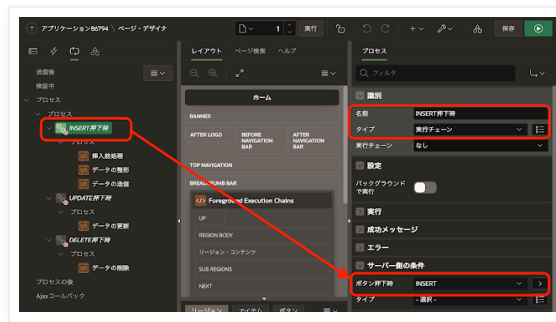


ボタンDELETEを押した時に実行されるプロセスも設定します。

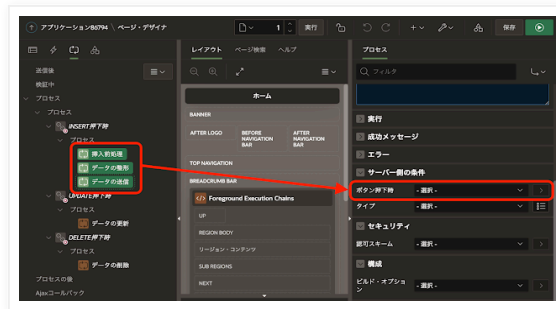


プロセスが実行される条件を見分けるためには、ひとつひとつのプロセスを選択し、**サーバー側の条件**を確認する必要があります。

実行される条件がわかりやすい名前をつけた実行チェーンを作成し、その**実行チェーンのサーバー側の条件**を設定することにより、ページ・プロセスを整理することができます。



実行チェーンに含まれるプロセスには、**サーバー側の条件**を設定する必要はありません。



ページに作成するプロセスの数が2桁に達することも稀ではないので、実行チェーンを使ってプロセスの実行条件が一目で分かるようにできると、とても便利です。

以上になります。

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 15:58

共有

<

ホーム

>

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.